

日時：2020年9月18日（金）15:45-17:45

場所：愛媛県立松山東高等学校（Zoomによるオンライン開催）

参加者：生徒5名、教員1名、見学2名

助成：公益財団法人日本財団、公益財団法人KDDI財団

体験会に先立ち、恒例のPOI（Point of Information）ポーズを練習し、早速1ラウンド目の論題が発表されました。ディベート未経験の生徒もいるなか、論題について堂々と現状の問題点を分かりやすく話す頼もしい姿や、相手の議論への反論も詰まることなく即興で返すなど、1ラウンド目からまるで経験者ラウンドのようなレベルの高い議論が交わされました。

ラウンド後は、ジャッジから各ディベーターへ良かった点と改善点がフィードバックされます。2ラウンド目では早速、ジャッジからのアドバイスをいかした議論が双方から出されました。スピーチの帰結を意識したり、論題のある世界では、どのように利益/弊害がうまれるのか、その変化・プロセスについての説明が両サイドから足され、さらには反論を支える根拠となる理由や具体例まで出そうとする姿もあり、生徒達のポテンシャルの高さに驚かされました。そのため、2ラウンド目ではスピーチ時間が足りなくなる生徒たちもいました。ラウンド後の質疑応答では、サマリースピーチの構成について質問が出るなど、終始積極的な学びと実践の姿が印象に残る体験会となりました。

引き続き練習を積んで、ディベートの力を磨いて、10月11日（土）に予定されています「第2回四国公立高等学校即興型英語ディベート交流大会」で、また会えることを楽しみにしています。画面越しではありますが、交流大会や全国大会が、同年齢の仲間たちと幅広い様々な論題について熱く議論をかわす、貴重な学びの場、交流の場になることを願っています。

